

21世紀のリサイクル提案型企業



Chubu cullet
since 1978

Chubu Cullet

株式会社 中部カレット

ご あ い さ つ

30年前ゴミは埋立、あるいは焼却をしていました。

しかし、年々増加するゴミを資源として、もう一度再生しようという気運が高まり始めたのが、オイルショックの時代でした。

私共は、この時代「ゴミとして簡単に捨てられる物をもう一度世の中に送り出し物の大切さをリサイクルを通し伝えていく」ことを目標として創立いたしました。

私共の社名である「中部カレット」の「カレット」はガラス瓶を粉碎し洗浄したものを言います。

オイルショック当時は、ガラスを回収するシステムが整っておらず、地域の酒屋さんや飲料メーカーが空瓶を回収するのがほとんどでした。

しかし、大量消費の時代となり、大量の空瓶を扱うためには、

別のシステムの構築を検討する必要があり、行政様に対して資源回収の提案を勧めてきました。

また、1997年の容器包装リサイクル法の施行より、ガラス瓶から培ってきた実績や

収集・処理のノウハウおよびプランの策定・立案などを活かし、新たにペットボトル・トレイ・

プラスチック類の回収・処理を行政様の委託サービスとして手がけてきました。

多くの行政様・地域の企業様とお付き合いが増えるに従い、処理システムを充実させていくことが課題となり、1999年ガラス瓶再商品化事業者に登録・産業廃棄物中間処理業を取得。

2002年よりプラスチック類再商品化事業者となりました。

また、再商品化事業者の経験から企業から排出されるプラスチックのリサイクルを拡充してまいりました。

そのため、収集効率や地域に根ざしたリサイクル保管施設の建設を推進し、各地に配備してきました。

今後はこの施設を地域の子供から大人まで、リサイクルについて学べるよう整備していく予定です。

これからも私共は、排出業者様のニーズにあわせた安心、安全、確実なリサイクルに対する研究開発をすすめ、リサイクルシステムの提案をしていきます。

Chubu Cullet

Chubu Cullet Group 一覧

会 社 概 要			社 名		
社 名	株 式 会 社	中 部 カ レ ッ ト	本 社	〒436-0226	静岡県掛川市遊家1021-1
営 業 所	〒427-0017	静岡県島田市南2-3-35	代 表 者	鈴木 雄介	資 本 金
創 業	昭和53年	有 限 会 社	中 部 カ レ ッ ト 浜 北	〒434-0016	静岡県浜松市根堅1752番地
社 名	有 限 会 社	島 田 リ サ イ ク ル セ ン タ ー	本 社	〒427-0017	静岡県島田市南2-3-35
営 業 所	〒427-0017	静岡県島田市南2-3-35	代 表 者	鈴木 雄介	資 本 金
創 業	平成14年	愛 知 県 内	蒲 郡 工 場	愛 知 県 蒲 郡 市 大 塚 町 大 田 29-1	豊 橋 工 場
工 場 一 覧	静 岡 県 内	島 田 工 場 1	静 岡 県 島 田 市 南 2-15-17	島 田 工 場 2	静 岡 県 島 田 市 南 2-15-17
中 河 工 場	静 岡 県 島 田 市 中 河 204-3	初 倉 工 場	静 岡 県 島 田 市 湯 田 147-3	富 士 工 場	静 岡 県 富 士 市 五 貫 島 901-1
掛 川 工 場	静 岡 県 掛 川 市 大 淵 12959-2	菊 川 工 場	静 岡 県 菊 川 市 和 田 布 巾 谷 1057-50	浜 北 工 場	静 岡 県 浜 松 市 根 堅 1752
磐 田	中 遠 広 域 事 務 組 合 内	湖 西	湖 西 市 環 境 セ ン タ ー 内	浜 松 南	浜 松 市 役 所 南 清 掃 事 業 所 内
事 業 内 容	・ ガ ラ ス 瓶 再 商 品 化 事 業 者	・ プ ラ ス チ ッ ク 再 商 品 化 事 業 者	・ 一 般 廃 棄 物 (容 器 包 装 リ サ イ ク ル) 収 集 ・ 中 間 ・ 保 管 業 務	・ プ ラ ス チ ッ ク 買 取 り 事 業	・ 産 業 廃 棄 物 収 集 ・ 運 搬 ・ 中 間 処 理 業
愛 知 県 内	蒲 郡 工 場	愛 知 県 蒲 郡 市 大 塚 町 大 田 29-1	豊 橋 工 場	愛 知 県 豊 橋 市 下 条 東 町 字 宮 脇 69	豊 川 工 場
為 当 工 場	愛 知 県 豊 川 市 千 両 町 上 の 山 31	為 当 工 場	愛 知 県 豊 川 市 為 当 町 寺 下 103	田 原 工 場	愛 知 県 田 原 市 加 治 町 沢 21-1
白 鳥 工 場	愛 知 県 豊 川 市 小 田 淵 町 4-39	為 当 工 場	愛 知 県 豊 川 市 為 当 町 川 原 田 60	為 当 工 場	愛 知 県 豊 川 市 為 当 町 川 原 田 60



Chubu Cullet 工場案内

排出事業者様へのサービス体制の充実・物流強化を目指して。

各行政様・各企業様とのお付き合いが増えていく中で、地域にあわせたりサイクルシステムの構築を助めてきました。

各地域に、ストックヤード・工場を配備することで、

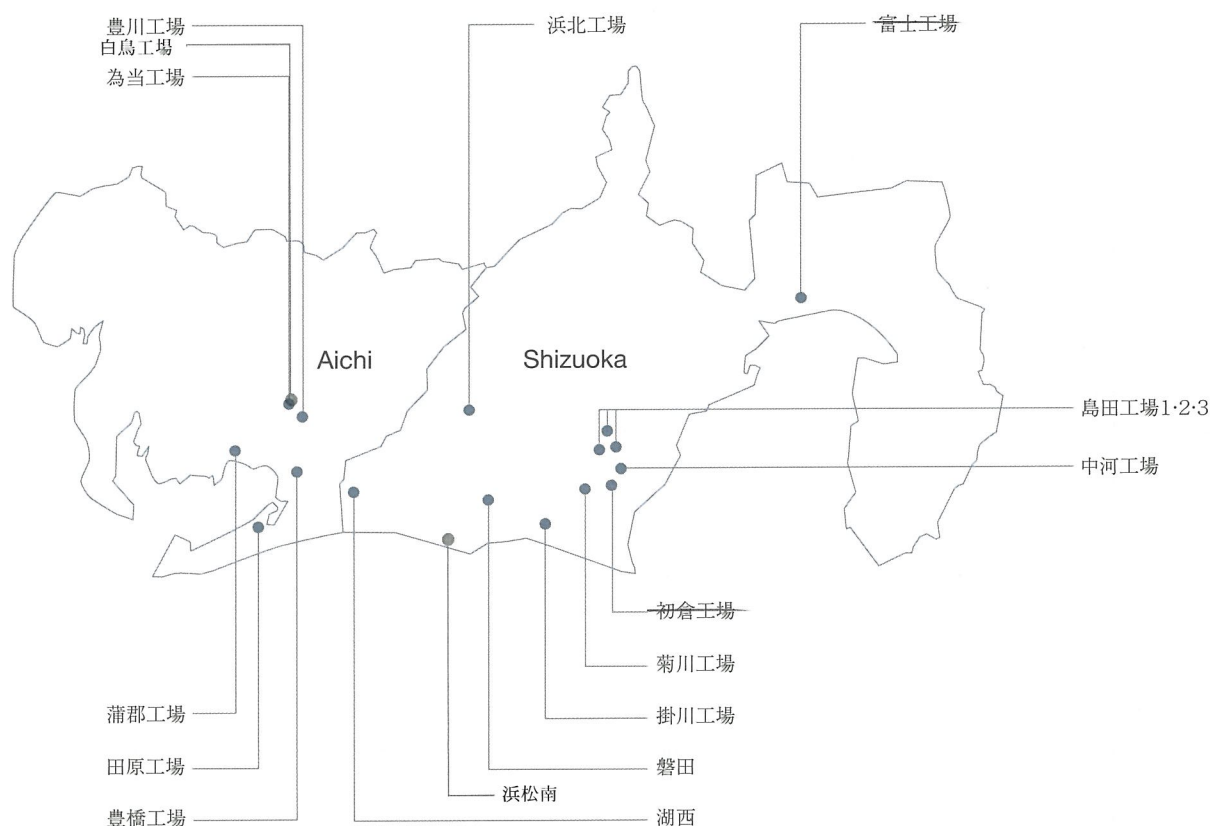
収集効率・作業・保管能力等（ロジスティック）の充実を今後もはかっていきます。



Chubu Cullet

ISO 14001 認証取得

蒲郡・湖西・磐田・掛川・島田



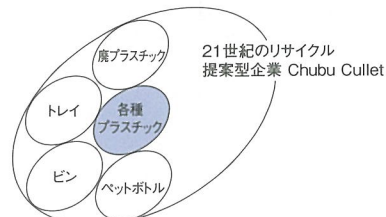
〔各種プラスチック再商品化システム〕

プラスチックを海外に、品質重視で産廃費削減!

平成16年より各種プラスチックの買取り事業を発足しました。

企業様から排出されるプラスチックを加工し、原料として再度利用していただくシステムを拡大してまいりました。

企業様においては、今まで産廃として排出していた物を有効活用し、さらに経費削減につながる仕組みなので、多くの企業様と取引させていただいております。



〔再商品化工程〕

回収工程

分別していただいたプラスチックを回収します。基本的にお客様からの選別が前提です。

フィルム



成型ロスなど



選別・計量工程

プラスチックは、PP・PE・ABS・PC・PS・PETなど、多くの種類が存在します。樹脂ごとに選別できないと、成型した時、成型不良をおこすため、やはり選別チェック体制が必要です。長続きするリサイクルを目指すには、この工程が重要不可欠です。

選別



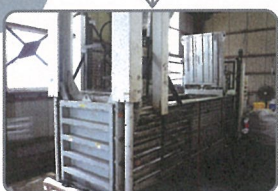
計量



破碎・梱包工程

フィルム類は、梱包またはグラッシュし、成型ロス品や厚いものは、樹脂ごと粉碎します。

梱包機



グラッシュ機



破碎機



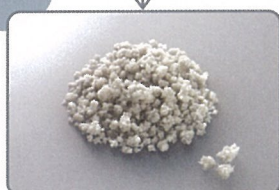
商品管理工程

樹脂ごとに保管し、国内及び海外出荷します。

梱包物



グラッシュ品



破碎品



コンテナ出荷工程

日本を始め、海外に多くのネットワークを活用し、世界に向けてプラスチックの原料供給をします。



コンテナ出荷





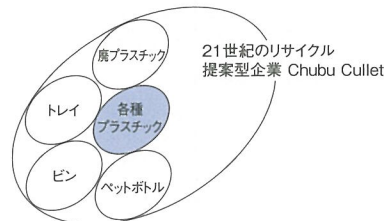
〔各種プラスチック再商品化システム〕

世界に通じる素材産業を目指し、幅広く海外ネットワーク拡大中!

ひと言に「海外に樹脂を売る」といっても、品質が悪ければ、すべてゴミとなります。

弊社は、海外だからこそ品質重視。信用を失えばストップする。これがリサイクルの世界です。

この考え方は、30年以上リサイクルに特化した弊社の理論です。お客様から選別をしていただき、長続きするリサイクルを今後も推進してまいります。



弊社の品質管理

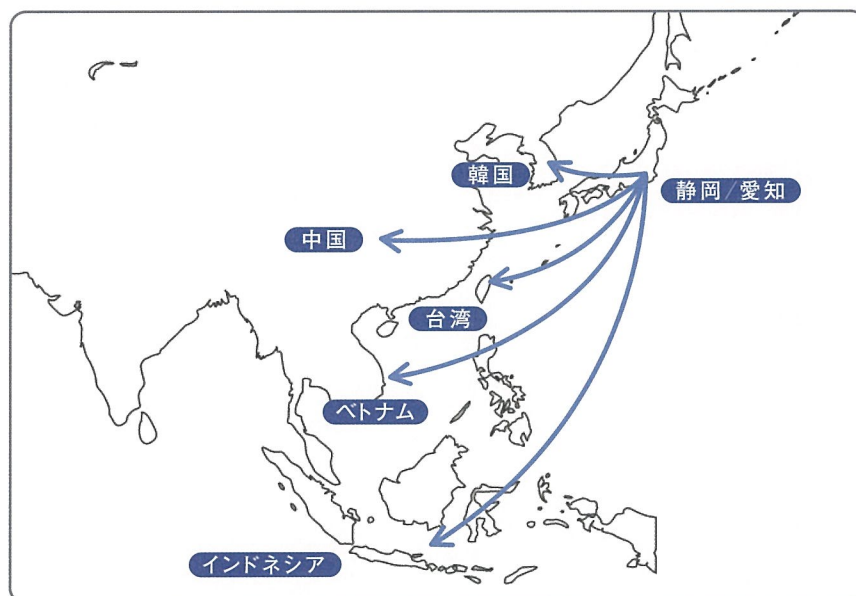
- ① 樹脂の品質を高めるため、弊社スタッフは、年2回の試験を行い、樹脂選別精度を高めています。
- ② 各提携業者とのコミュニケーションは勿論のこと、月に1度中国・東南アジアの市場調査・工場視察・査定を行っています。よって、いち早く市場の動きを察知することも可能になりました。



①

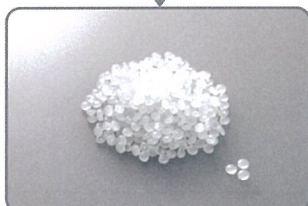


②



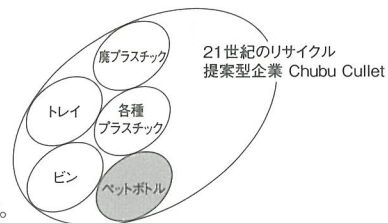
ペレット製造工程

中国・東南アジアなどの提携会社へ商品を提供し、再ペレット化または成型加工をしていただきます。



アジア(主に中国)で、再ペレット化し、バージンペレットと再生ペレットを混ぜて、成型加工する。そして成型加工した各商品は世界市場に販売されます。

〔ペットボトル再商品化システム〕



ペットボトルのリサイクルをいち早く提案してまいりました。

ビン・缶に変わり、最近は軽くて持ち運びの便利なペットボトルが飲料業界の主流になっています。

弊社では、容器包装リサイクル法の施行以前からいち早くPET・トレイの分別回収を提言し、

独自にリサイクルをしてまいりました。ペットボトルは、ポリエステル使用の製品にほとんど利用できるため、

繊維関係にリサイクルされるケースが多かったのですが、最近では、もう一度ボトルへのリサイクルが可能になってきました。

〔再商品化工程〕

回収工程

分別して出していただいた
ペットボトルを回収します。



梱包工程

キャップ類や異物を除去し、
運搬しやすいように梱包し
ます。

梱包機



梱包品



湿式粉碎



比重装置



粉碎・比重・洗浄工程

ペットボトルを粉碎・洗浄し
ます。

原料化

原料化する際は、比重選
別・洗浄・乾燥工程あり。

フレーク



ペレット



再生
ポリエステル



各種製品

ペットボトルはポリエステル
として、繊維関係に多く利
用されています。



エコソックス



ジャンパー



トートバッグ

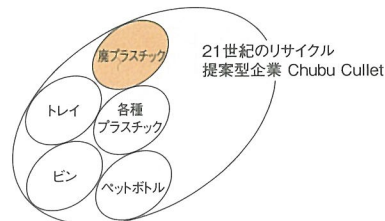


軍手

〔廃プラスチック再商品化システム〕

マテリアルリサイクルを導入し、生活で役立つ製品へ！

平成14年容器包装リサイクル法に伴う再商品化事業者へ登録。私たちの生活において、かかせないのがプラスチック類。考えてみてください。スーパーでなにか購入しようと思えば、必ず容器や包装が商品に施されています。今までそれらプラスチックは、焼却場や埋立で、処理されてきました。しかし、技術の進歩で、それら雑多なプラスチックが現代では、高炉還元として利用されたり、油にする技術も活発化してまいりました。弊社では、マテリアルリサイクルを導入し、雑多なプラスチック類をもう一度世の中に送り出し、生活の一部として利用していただくリサイクルに着目、整備してまいりました。



〔再商品化工程〕

破袋・選別工程

プラスチックを回収し、破袋・選別をする。



破袋機



選別



梱包工程

梱包機にて加工する。

梱包機



破碎・比重・選別工程

プラスチックも破碎し、比重選別により、PET・PS・塩ビを除去してその後、水で洗浄する。

破碎機



比重装置



脱水・乾燥工程

洗浄されたプラスチックを脱水・乾燥する。

脱水



乾燥



造粒工程

熱をかけて、造粒する。

造粒



成型工程

製品化の際は、専門会社による成型工程がある。

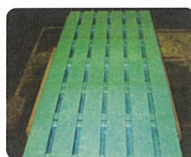


各種製品

擬板、擬すのこ、擬木などに原料として使用する。



擬木



すのこ



プラスチック杭

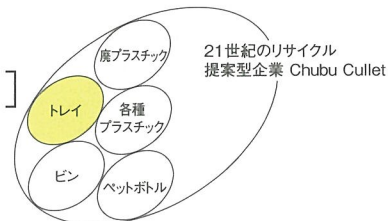


プラスチック フェンス

[発泡スチロール・トレイ再商品化システム]

軽くてかさばる発泡スチロール・トレイを生活用品へ!

軽くてかさばる発泡スチロール・トレイのリサイクルの歴史は古く、
皆様が日常生活で何気なく使用している物の中に、リサイクル商品があふれています。
容器包装リサイクル法に伴い、平成14年度にトレイ再商品化事業者に登録。
続いて産業廃棄物中間処理業を取得いたしました。



[再商品化工程]

回収工程

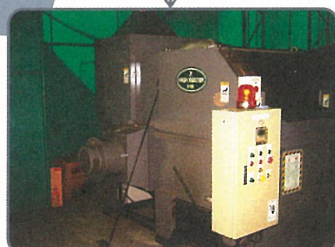
分別して出していただいた
発泡スチロール・トレイを回
収します。



減容工程

発泡スチロール・トレイ以外
の異物を除去し、減容イン
ゴットをつくります。

減容工程



減容品



原料化

インゴットにさらに熱を加
え、ペレットを生産します。

ペレット



原料化する際は、
押し出し工程あり

各種製品

さまざまな生活用品の原料
として利用されます。



蛍光ペン



ビデオテープ



鉢

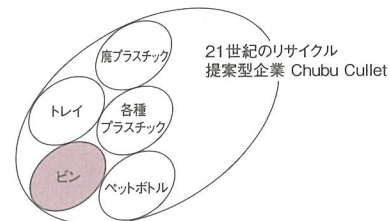


鉢受け皿

「ガラスビン再商品化システム」

ガラスビンはリサイクルの優等生。
もう一度ビンに生まれかわります。

平成12年容器包装リサイクル法に伴う再商品化事業者に登録。産業廃棄物中間処理業を取得。
ガラスビンは、リサイクルの優等生と言われております。皆さんが買って飲んだガラスビンの60%が、
ガラスビンにもう一度生まれかわっております。しかし、最近はその他の色のビン（青・緑・黒）が、
ワインブームなどの影響で海外からの輸入が多く、国内生産量とミスマッチを起こし、余ってしまう傾向にありました。
そんな中、各建材メーカー様のご指導のもと、ガラスの骨材化に成功いたしました。



白・茶色瓶のリサイクル

〔再商品化工程〕

その他

回収工程

分別して出していただいたガラスビンを回収します。

ストック工程

キャップ類や陶器類などの異物を除去し、各色ごとにストックします。

破碎工程

ガラスを破碎します。

2次破碎工程

ガラスの角をとり、丸くします。

粒度選別工程

利用分野にあわせ粒度を調整します。

骨材化

原料化

ヴァージン原料とカレットを混ぜ、熱をかけ溶かします。

各種製品

白・茶ビンはもう一度ビンに生まれかわります。その他の色のビンは骨材として利用されます。

白色瓶

茶色瓶

原料化(カレット)する際は、
専門会社にて厳密な選別・破碎・洗浄工程あり

製品化する際は、製瓶会社による別の工程あり

透明ガラスビン

茶色ガラスビン

タイル

鑑賞材

株式会社 中部カレット